# 重点プロジェクト関連事業を優先的に推進

## 25年度 決算の概要

25年度は、景気回復が緩やかに広がりつつある一方、個人市民税が減少するなど、依然として厳しい財政運営となりました。こうした中でも「新時代 あやせプラン21」後期基本計画の重点プロジェクト関連事業を優先的に推進するとともに、市民生活重視の視点で各種施策に取り組みました。詳しくは、市ホームページで公開しています。

問財政課☎70・5601。

### 一般会計

◆**歳入** 固定資産税が家屋の新・増築の件数の増により、市たばこ税が税率の引き上げによりそれぞれ増となり、**市税全体**では、**1億1千万円の増**でしたが、綾瀬スポーツ公園整備の減少による国庫補助金の減や市債の借り入れの抑制などにより、**歳入全体**では、**8億5千万円の減**でした。

◆**歳出** **民生費**は、特別養護老人ホーム整備への助成金の増、認可保育園が増えたことによる保育所運営費交付金の増などにより、**5億4千万円の増**でした。**土木費**は、橋の耐震補強工事により道路維持補修事業費が増加した一方、公園の整備費や公園用地取得費の減などにより、**12億9千万円の減**でした。**教育費**は、校舎外壁やトイレなどの改修工事により中学校施設改修事業費が増加した一方、神崎遺跡に係る用地取得の減により、**1億2千万円の減**でした。**歳出全体**では、**10億9千万円の減**でした。

### 特別会計

**国民健康保険事業** 被保険者数はわずかに減少したものの、被保険者の高齢化や医療の高度化などから1人当たりの医療費の増加が続き、保険給付費が前年度比1・6%の増でした。

**下水道事業** 公共用水域の水質保全と地域住民の居住環境を保持するため、公共下水道の整備や改築を行いました。

**深谷中央特定土地区画整理事業** 区域内の造成擁壁工事が完了し、残りの都市基盤施設である道路、ライフライン関係、緑地の整備を実施しました。

**介護保険事業** 要介護認定者の増加などにより、保険給付費が前年度比7・2%の増でした。

**後期高齢者医療事業** 広域連合納付金の増により、負担金が5・4%の増でした。

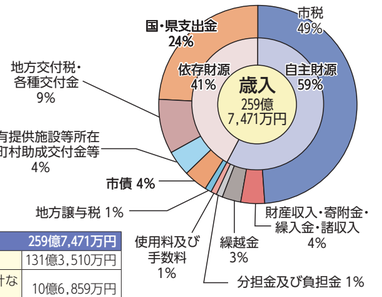
### 各会計の決算額一覧

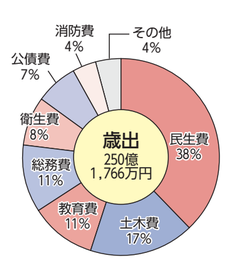
※四捨五入しているため合計と一致しない場合があります

| 歳入 会計名 | 決算額 | 昨年との比較 増減 | 昨年との比較 伸び率 |
|---|---|---|---|
| 一般会計 | 259億7,471万円 | △8億4,970万円 | △3.2% |
| 特別会計 国民健康保険事業 | 98億6,301万円 | 2億5,473万円 | 2.7% |
| 特別会計 下水道事業 | 29億9,088万円 | 1億 788万円 | 3.7% |
| 特別会計 深谷中央特定土地区画整理事業 | 7億5,770万円 | 1億4,456万円 | 23.6% |
| 特別会計 介護保険事業 | 36億9,872万円 | 2億3,647万円 | 6.8% |
| 特別会計 後期高齢者医療事業 | 6億9,488万円 | 3,581万円 | 5.4% |
| 特別会計 計 | 180億 518万円 | 7億7,944万円 | 4.5% |
| 合計 | 439億7,989万円 | △7,026万円 | △0.2% |

| 歳出 会計名 | 決算額 | 昨年との比較 増減 | 昨年との比較 伸び率 |
|---|---|---|---|
| 一般会計 | 250億1,766万円 | △10億8,691万円 | △4.2% |
| 特別会計 国民健康保険事業 | 97億9,301万円 | 2億6,473万円 | 2.8% |
| 特別会計 下水道事業 | 29億8,088万円 | 1億 788万円 | 3.8% |
| 特別会計 深谷中央特定土地区画整理事業 | 7億4,288万円 | 1億3,975万円 | 23.2% |
| 特別会計 介護保険事業 | 36億1,528万円 | 2億4,708万円 | 7.3% |
| 特別会計 後期高齢者医療事業 | 6億9,061万円 | 3,466万円 | 5.3% |
| 特別会計 計 | 178億2,267万円 | 7億9,409万円 | 4.7% |
| 合計 | 428億4,032万円 | △2億9,281万円 | △0.7% |

### 25年度決算状況(一般会計)




### 円グラフの解説

| 歳入 | | 259億7,471万円 |
|---|---|---|
| 市税 | 皆さんが納めた税金 | 131億3,510万円 |
| 財産収入・寄附金・繰入金・諸収入 | 市有地を売却して得たお金、寄付金、基金（市の貯金）や特別会計などから繰り入れたお金 | 10億6,859万円 |
| 繰越金 | 前年度から繰り越されたお金 | 7億1,985万円 |
| 分担金及び負担金 | 保育料や施設の入所費用など、特定の利益を受ける方が負担したお金 | 2億3,387万円 |
| 使用料及び手数料 | 施設使用料や住民票発行手数料など | 1億6,552万円 |
| 地方譲与税 | 国が徴収した自動車重量税などから分配されたお金 | 1億7,142万円 |
| 国・県支出金 | 市の事業に対し、国や県から交付されたお金 | 61億5,921万円 |
| 地方消費税交付金<br>地方特例交付金<br>地方交付税など | 消費税の一部として県から交付されたお金、<br>減税を補うためなどに国から交付されたお金、<br>国税の中から交付されたお金など | 22億8,217万円 |
| 国有提供施設等所在市町村助成交付金等 | 基地施設が使う固定資産に対し国から交付されたお金 | 12億2,458万円 |
| 市債 | 国や金融機関などから借り入れたお金 | 8億1,440万円 |

| 歳出 | | 250億1,766万円 |
|---|---|---|
| 民生費 | 高齢者、障がい者、児童などの福祉の費用 | 95億2,236万円 |
| 土木費 | 道路、河川、公園などの整備や維持の費用 | 41億9,836万円 |
| 教育費 | 小・中学校、生涯学習などの振興の費用 | 27億2,560万円 |
| 総務費 | 防災対策、情報化推進などの費用 | 26億9,373万円 |
| 衛生費 | ごみ処理、保健衛生などの費用 | 20億7,833万円 |
| 公債費 | 国や金融機関などから借り入れたお金の返済費用 | 17億 866万円 |
| 消防費 | 消防や救急活動などの費用 | 10億5,949万円 |
| その他 | 商工業振興などの費用 | 10億3,113万円 |



## 主な事業（25年度の新規・拡充事業）

### 1 元気の力（福祉、医療）

**（仮称）保健福祉センターの建設（415万円）** 老朽化した福祉会館の再整備に併せて、少子高齢化に対応した、福祉・介護・保健・医療の集約・連携強化を図る拠点施設とするための整備に着手しました（29年9月完成予定）。

**がん検診の充実（3,114万円）** 乳がん検診の充実強化を図るため、30歳代の方を対象に、より精度の高いエコー検診を実施しました。また、受診率向上を図るため、乳がん・子宮がんの日曜検診のほか、胃がん・肺がん・大腸がん・乳がん・子宮がん検診を同時受診できる日を設けました。

### 2 産業の力（農業、商業、工業）

**（仮称）綾瀬スマートインターチェンジ関連事業（1億7,229万円）** 29年度末までの開通を目指し、県、中日本高速道路(株)とともに事業を開始し、市において市道325号線物件調査と市道933-1号線用地取得などの関連事業を実施しました。

### 3 教育文化の力（教育、文化、スポーツ）

**セカンドブック事業の展開（101万円）** 子ども読書活動と「あやせゼロの日運動」を推進するため、新小学1年生に本を配布し、親子で本に親しむ機会や子どもたち自身が本に出会う機会を提供する同事業を実施しました。

### 4 環境の力（環境、みどり）

**環境基本計画の策定（221万円）** 良好な環境を将来の世代に引き継ぐため、地球環境への負荷低減を図ることを目標に、同計画を改訂しました。

### 5 安全安心の力（防災、防犯、消防）

**広域避難場所案内表示板のユニバーサルデザイン化（896万円）** 広域避難場所の周知と災害時の誘導の円滑化を図るため、案内表示板を増設しました。

**集中豪雨の浸水対策（1,061万円）** 多発する集中豪雨に備え、抜本的な浸水対策を講じるための調査と計画策定に着手しました。

## 財政指標　市の財政は健全です

市の比率は　元気　しんどい（■早期健全化基準）　ふらふら（■財政再生基準）

**実質赤字比率**　赤字なし　■12.71%　■20.0%
一般会計と深谷中央特定土地区画整理事業特別会計を合算した赤字の程度

**連結実質赤字比率**　赤字なし　■17.71%　■30.0%
一般・特別会計全体の赤字の程度

**実質公債費比率**　11.8%　■25.0%　■35.0%
長期の借入金などの返済に使った金額の1年間の収入に対する割合

**将来負担比率**　55.9%　■350.0%
借入金や職員の退職金などの将来的な負担額の1年間の収入に対する割合

**資金不足比率**　不足なし　■20.0%
公営企業の料金収入に対する資金不足の程度（下水道事業特別会計）

## 人事行政の運営などの状況

問職員課☎70・5608

詳しくは、市ホームページで見ることができます。

### 1 職員数と職員の採用などに関する状況

（1）部門別職員数の状況と主な増減理由（各年4月1日現在）　【単位：人】

| 部門 | | 区分 | 職員数 26年 | 職員数 25年 | 対前年増減数 | 主な増減理由 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 普通会計部門 | 一般行政部門 | 議会 | 8 | 8 | 0 | |
| | | 総務 | 111 | 114 | △3 | 事務の統廃合縮小による減 |
| | | 税務 | 26 | 29 | △3 | 欠員不補充 |
| | | 民生 | 99(2) | 96(3) | 3 | 業務増による増 |
| | | 衛生 | 67 | 66 | 1 | 業務増による増 |
| | | 労働 | － | － | － | |
| | | 農林水産 | 9 | 9 | 0 | |
| | | 商工 | 8 | 8 | 0 | |
| | | 土木 | 72 | 69(2) | 3 | 業務増による増 |
| | | 計 | 400(2) | 399(5) | 1 | 〈参考〉人口1万人当たりの職員数 46.88人（類似団体の人口1万人当たりの職員数53.97人） |
| | 教育部門 | | 58 | 59 | △1 | 欠員不補充 |
| | 消防部門 | | 111 | 112 | △1 | その他減 |
| | 小計 | | 569(2) | 570(5) | △1 | 〈参考〉人口1万人当たりの職員数66.69人（類似団体の人口1万人当たりの職員数71.91人） |
| 公営企業等会計部門 | 下水道 | | 13 | 13 | 0 | |
| | その他 | | 25 | 24 | 1 | 業務増による増 |
| | 小計 | | 38 | 37 | 1 | |
| 合計 | | | 607(2)[666] | 607(5)[666] | 0[0] | 〈参考〉人口1万人当たりの職員数71.14人 |

※職員数は一般職に属する職員数　※( )内は育児休業代替任期付職員数で、外数　※類似団体の人口1万人当たり職員数は昨年4月1日現在の数値　※[ ]内は、条例定数の合計

（2）採用試験実施の状況（25年度採用試験実施結果）　【単位：人】

| 職種 | 試験区分 | 受験者数 男 | 受験者数 女 | 受験者数 計 | 1次合格者数 男 | 1次合格者数 女 | 1次合格者数 計 | 2次合格者数 男 | 2次合格者数 女 | 2次合格者数 計 | 最終合格者数 男 | 最終合格者数 女 | 最終合格者数 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 行政 | 大学卒 | 125 | 46 | 171 | 68 | 24 | 92 | 21 | 16 | 37 | 10 | 9 | 19 |
| | 短大卒 | 13 | 9 | 22 | 13 | 7 | 20 | 2 | 3 | 5 | 0 | 2 | 2 |
| 行政（身体障がい者）（第1回） | 大学卒 | 2 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 行政（身体障がい者）（第2回） | 大学卒 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 高校卒 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 土木（第1回） | 大学卒 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 |
| 土木（第2回） | 大学卒 | 9 | 1 | 10 | 6 | 0 | 6 | 6 | 0 | 6 | 3 | 0 | 3 |
| | 経験者 | 3 | 0 | 3 | 2 | 0 | 2 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 |
| 保健師（第1回） | 大学卒 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 保健師（第2回） | 大学卒 | 1 | 7 | 8 | 1 | 6 | 7 | 0 | 5 | 5 | 0 | 3 | 3 |
| 消防 | 短大卒 | 13 | 1 | 14 | 11 | 0 | 11 | 5 | 0 | 5 | 1 | 0 | 1 |
| | 高校卒 | 16 | 0 | 16 | 14 | 0 | 14 | 5 | 0 | 5 | 2 | 0 | 2 |
| 保育士 | 短大卒 | 1 | 14 | 15 | 1 | 11 | 12 | 0 | 6 | 6 | 0 | 2 | 2 |
| 行政（第1回） | 任期付 | 2 | 0 | 2 | 2 | 0 | 2 | － | － | － | 2 | 0 | 2 |
| 行政（第2回） | 任期付 | 2 | 4 | 6 | 1 | 3 | 4 | － | － | － | 1 | 3 | 4 |
| 保育士 | 任期付 | 0 | 3 | 3 | 0 | 2 | 2 | － | － | － | 0 | 2 | 2 |
| 合計 | | 189 | 85 | 274 | 120 | 53 | 173 | 41 | 30 | 71 | 21 | 21 | 42 |

### 2 職員の給与の状況

（1）職員の平均年齢、平均給料月額と平均給与月額の状況（26年4月1日現在）

| 一般行政職 平均年齢 | 平均給料月額 | 平均給与月額 | 技能労務職 平均年齢 | 平均給料月額 | 平均給与月額 |
|---|---|---|---|---|---|
| 42.7歳 | 334,897円 | 433,192円 | 48.2歳 | 338,409円 | 419,688円 |

（2）職員の初任給の状況（26年4月1日現在）

| 区分 | | 綾瀬市 | 神奈川県 | 国 |
|---|---|---|---|---|
| 一般行政職 | 大学卒 | 181,200円 | 178,800円 | 総合職 181,220円<br>一般職 172,200円 |
| | 高校卒 | 149,800円 | 144,500円 | 140,100円 |
| 技能労務職 | | 149,800円 | 143,100円 | — |

（3）一般行政職の級別職員数の状況（26年4月1日現在）

| 区分 | | 7級 | 6級 | 5級 | 4級 | 3級 | 2級 | 1級 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 標準的な職務内容 | | 部長 | 課長 | 副主幹 | 主査 | 主任主事 | 主事 | 主事補 | |
| 職員数(人) | | 27(0) | 56(0) | 76(0) | 56(0) | 30(0) | 68(0) | 33(17) | 346(17) |
| 構成比(%) | | 7.8(0) | 16.2(0) | 22.0(0) | 16.2(0) | 8.7(0) | 19.6(0) | 9.5(100) | 100(100) |
| 参考 | 1年前の構成比 | 7.8 | 16.2 | 21.5 | 21.7 | 6.7 | 15.1 | 11.0 | 100 |
| | 5年前の構成比 | 8.2 | 13.1 | 11.1 | 45.4 | 8.8 | 7.4 | 6.0 | 100 |

※職員数は市の給与条例に基づく行政職給料表の級区分による人数（消防職・税務職・福祉職などを除く）
※標準的な職務内容は各級に該当する代表的な職名　※( )内は再任用短時間勤務職員で、外数

（4）職員手当の状況

| 区分 | | 綾瀬市 期末 | 綾瀬市 勤勉 | 国 期末 | 国 勤勉 |
|---|---|---|---|---|---|
| 期末・勤勉手当 | 25年度支給割合 | 2.60月分(1.45月分) | 1.35月分(0.65月分) | 2.60月分(1.45月分) | 1.35月分(0.65月分) |
| | 加算措置の状況 | 職制上の段階、職務の級などによる加算措置：役職加算 5～20% | | 職制上の段階、職務の級などによる加算措置：役職加算 5～20%　管理職加算 10～25% | |
| | 1人当たり平均支給額(25年度) | 1,543千円 | | — | |
| 退職手当 | (25年度支給率)<br>勤続20年<br>勤続25年<br>勤続35年<br>最高限度額<br>1人当たり平均支給額 | 自己都合<br>23.50月分<br>33.50月分<br>47.50月分<br>59.28月分<br>1,232千円 | 勧奨・定年<br>30.55月分<br>41.34月分<br>59.28月分<br>59.28月分<br>25,720千円 | 自己都合<br>23.03月分<br>32.83月分<br>46.55月分<br>55.86月分<br>— | 勧奨・定年<br>28.788月分<br>38.955月分<br>55.86月分<br>55.86月分<br>— |
| | その他の加算措置<br>退職時特別昇給 | 定年前早期退職特例措置(2～20%加算)<br>なし | | 定年前早期退職特例措置(2～20%加算)<br>なし | |

※( )内は再任用短時間勤務職員に係る支給割合　※退職手当の1人当たり平均支給額は、前年度に退職した全職種に係る職員に支給された平均額

| 区分 | | 綾瀬市 | 国 |
|---|---|---|---|
| 扶養手当 | 配偶者 | 13,900円 | 13,000円 |
| | 配偶者以外の扶養親族 | 7,500円 | 6,500円 |
| | 配偶者のいない職員の扶養親族のうち1人 | 11,200円 | 11,000円 |
| | 16～22歳の子の特定加算 | 5,500円 | 5,000円 |
| 住居手当 | | 市内：29,700円を限度<br>市外：27,000円を限度 | 27,000円を限度 |
| 通勤手当 | | 55,000円を限度 | 55,000円を限度 |
| 地域手当(26年4月1日現在) | | 支給率 10% | |
| | | 支給対象職員数 609人 | |
| | | 国の制度(支給率) 3% | |

| 区分 | | 全職種 |
|---|---|---|
| 特殊勤務手当(26年4月1日現在) | 職員全体に占める手当支給職員の割合(25年度決算) | 17.1% |
| | 支給職員1人当たり平均支給年額(25年度決算) | 12,767円 |
| | 手当の種類(手当数) | 市一般職の職員の特殊勤務手当に関する条例(5)、市技能労務職員の給与に関する規則(1) |
| | 代表的な手当の名称 | 消防手当、社会福祉業務手当 |

| 時間外勤務手当 | | | |
|---|---|---|---|
| 25年度 | 支給実績 | 130,511千円 |
| | 職員1人当たり支給年額 | 213千円 |
| 24年度 | 支給実績 | 104,468千円 |
| | 職員1人当たり支給年額 | 168千円 |

（5）特別職の報酬などの状況（26年4月1日現在）

| 区分 | | 給料月額など |
|---|---|---|
| 給料 | 市長<br>副市長 | 911,000円(714,224円)<br>740,000円(688,940円) |
| 報酬 | 議長<br>副議長<br>議員 | 530,000円<br>429,000円<br>398,000円 |
| 期末手当 | 市長・副市長<br>議長・副議長<br>議員 | (25年度支給割合)<br>3.85月分 |
| 退職手当 | 市長<br>副市長 | (算定方式)　(支給時期)<br>給料月額×勤続期間×400／100×87／100　任期ごと<br>給料月額×勤続期間×300／100×87／100　任期ごと |

※給料の( )内の金額は、減額措置（24.7.25～28.7.24）による金額

### 3 勤務時間・そのほかの勤務条件

（1）職員の勤務時間、休憩時間の概要（26年4月1日現在）

職員の勤務時間は、8時30分～17時のうち休憩時間45分を除いた1日7時間45分、週38時間45分です。

（2）各種休暇の取得状況（25年度中）

| 区分 | 取得状況 | 区分 | 取得状況 |
|---|---|---|---|
| 年次休暇 | 平均7.1日 | 病気休暇など | 49人 |
| 特別休暇 | 延819人 | 育児休業 | 5(5)人 |
| 介護休暇 | 1人 | 部分休業 | 0(0)人 |

※( )内は女性の取得者数で、内数